

城山公園再整備基本構想(素々案) 検討資料

目 次

1.基本構想の検討のための与条件の整理	1
(1)前提条件	1
(2)城山公園の施設別の方向性	1
(3)将来目標年(2068)までのスケジュール	1
(4)城山公園再整備の流れ	2
2.再整備基本構想(素々案)	3
(1)再整備基本構想の基本的な考え方	3
(2)整備コンセプトと整備方針	4
(3)ゾーニング(空間構成の方針)	5
(4)動線(空間構成の方針の補足として)	6
(5)現施設と基本構想(素々案)の比較	7
(6)段階整備について	8
(7)ゾーンのイメージ写真等	9
(参考)基本構想検討の経過	11

令和元年6月18日

城山公園再整備検討委員会
長野市 都市整備部 公園緑地課

1.基本構想の検討のための与条件の整理

- 城山公園の都市計画決定面積は、21.1ha(赤枠)となっているが、現在開園している区域は、13.3ha(青枠)となっている。
- 基本構想策定にあたり、城山公園周辺の道路計画、まちづくり計画の調整も必要となってくるが、本委員会では、下の前提条件等を考慮しながら、構想を検討することとする。

(1)前提条件

- 1) 基本構想の検討は、開園区域を主とするが、機能上、検討が必要な未開園区域等がある場合、その範囲を含めて策定する。
- 2)「長野市緑を豊かにする計画(平成31年4月改定)」では、今後、市全体の都市公園の見直しを行う予定であるため、このなかで、城山公園の計画決定範囲の取り扱いを検討する。
- 3) 公園周辺の道路計画は、市全体の計画に及ぶことから、本委員会では、公園範囲のみを検討する。
- 4) 関係各課で検討している公共施設マネジメントの方向性をふまえて、検討する。
- 5) 長期的な構想となることから、優先順位を加味して、中間年次における構想図も策定する。

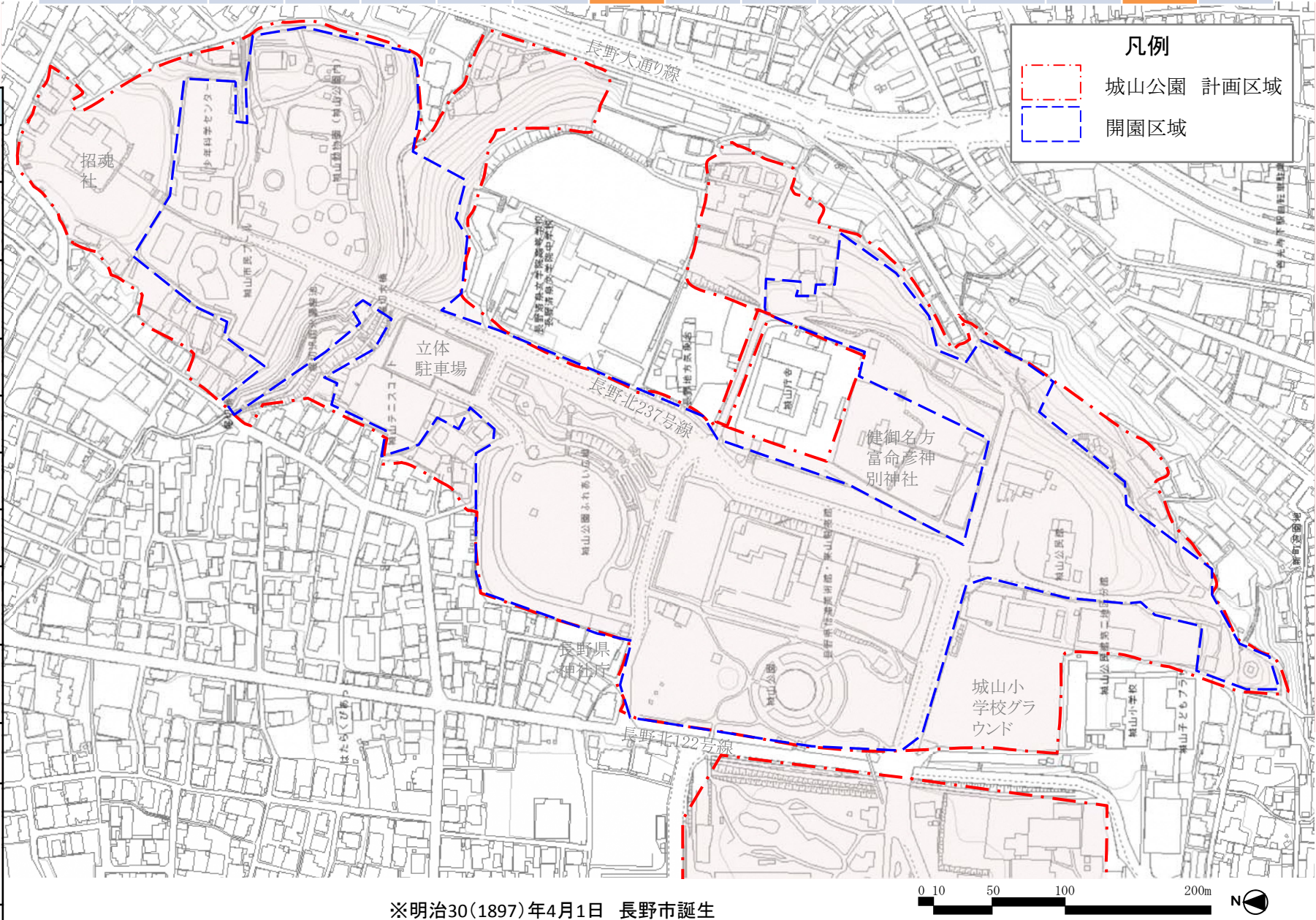
(2)城山公園の施設別の方向性

施設名	担当部局	方向性（平成31年3月1日現在）
城山公園全体	市公園緑地課	・本委員会にて検討。それをうけ、担当部局で方向性を決定。 ・基本構想策定 ～平成32年度中
城山動物園	市公園緑地課	・本委員会にて検討。それをうけ、担当部局で方向性を決定。 ・公共施設等総合計画では、「公園一体の再整備検討のなかで在り方を検討」。
プール	市スポーツ課	・本委員会にて検討。それをうけ、担当部局で方向性を決定。 ・市民プールの統廃合第二期において北部市民プールと城山市民プールのどちらかを存続。
テニスコート	市スポーツ課	・本委員会にて検討。それをうけ、担当部局で方向性を決定。
少年科学センター	市家庭地域学びの課	・本委員会にて検討。それをうけ、担当部局で方向性を決定。 ・長野市青少年健全育成審議委員会にて検討。
ふれあい広場	市公園緑地課	・本委員会にて検討。それをうけ、担当部局で方向性を決定。
噴水広場	市公園緑地課	・公園の解体 平成31年4月から ・公園の整備 平成31年4月から平成32年度末まで
信濃美術館・東山魁夷館	長野県	・建物の解体 平成31年3月末まで ・改築の工事 平成31年4月から平成32年12月まで
蔵春閣	市家庭地域学びの課	・本委員会にて検討。それをうけ、担当部局で方向性を決定。 ・閉館 平成30年3月31日 ・取り壊しは未定(解体することは決定)
城山公民館	市家庭地域学びの課	・本委員会にて検討。それをうけ、担当部局で方向性を決定。 ・耐震化済み 明確な予定はない。
城山分室(公園区域外)	市庶務課	・本委員会にて検討。それをうけ、担当部局で方向性を決定。 ・機関の移転 平成31年10月まで ・建物の解体 平成31年11月から平成32年6月頃まで ・暫定駐車場の整備期間 平成32年7月頃から平成32年度末まで
立体駐車場	市公園緑地課	・本委員会にて検討。それをうけ、担当部局で方向性を決定。

(3)将来目標年(2068)までのスケジュール

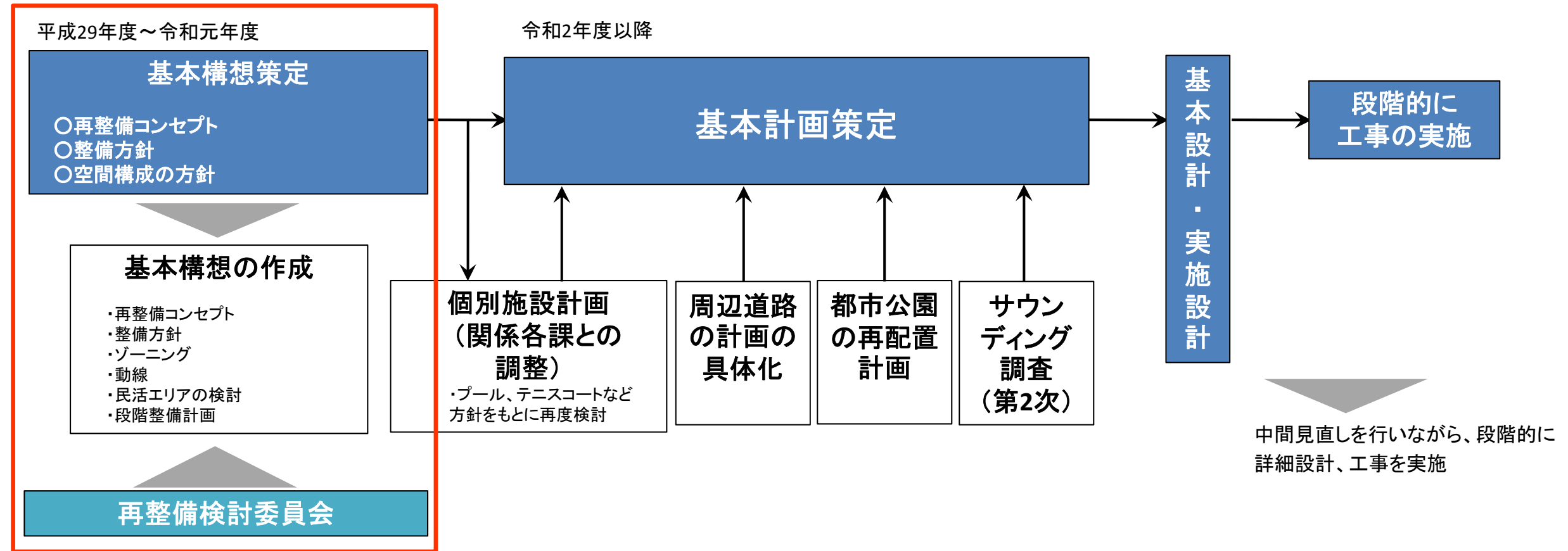
- 50年先を見据えた基本構想を考えると、善光寺御開帳が8回来ることとなる。
- これまでの整備の経緯を考慮すると、「善光寺御開帳」がひとつの目標となることから、今後はこの予定を考慮しながら、具体化の検討を行うこととする。(善光寺御開帳は数え年で7年に1度である)
- そこで、段階的に再整備を行いながら、目標年次(50年)にむけ、新たな公園を目指していく。
- また、長期的な構想となるため、中間年次における構想図を策定し、この時期に、社会情勢の変化や公園ニーズをふまえながら、見直しも行っていく。

西暦	2021	2027	2028	2033	2038	2039	2043	2045	2047	2051	2057	2058	2063	2068	2069
2018年を基準	3年目		10年目		20年目		25年目					40年目		50年目	
善光寺御開帳	○	○		○		○		○		○	○		○		○
長野市誕生									150周年						



※明治30(1897)年4月1日 長野市誕生

(4) 城山公園再整備の流れ



2.再整備基本構想(素々案) (1)再整備の基本的な考え方と再整備コンセプト

・城山公園の歴史や現状や課題を分析したなかで、再整備の基本的な考え方を整理し、城山公園の再整備コンセプトをとりまとめた。

■歴史から浮き彫りになったキーワード

項 目	内 容
誰もが知っている	・長野市で最も古い都市公園 ・動物園やプール、広場、美術館などが整備され、幅広い年齢層に親しまれている
長野市民の情報発信地	・善光寺に隣接する人が集まる立地を生かして、コンベンションや市民交流の場として使われてきた
長野市のシンボル	・公園内の噴水は長野市のシンボル(噴水は100年以上の歴史がある)
文化芸術の発信地	・信濃美術館と東山魁夷館が併設され、文化芸術の発信地として県内外の人が訪れている ・公園内には野外彫刻が点在し、芸術とのふれあえる公園
展望	・蔵春閣の屋上からの眺望は良好であった
豊かな自然環境	・招魂社や彦神別神社の100年以上続く森がある ・堀切沢の水と緑豊かな空間がある
桜の名所	・園内道路沿いに桜並木が整備され、長野市の桜の名所となっている
レクリエーションの場	・動物園やプール、広場などが整備され、市民の多様なレクリエーションの場である
科学や生物とふれあえる場	・少年科学センターや城山動物園、堀切沢(ホタル水路)が整備され、科学や生物の分野を体感できる場である
健康増進の場	・テニスコート、プール、かつては、野球場、バレーボールコートなどが整備され、市民の健康増進の場である
おもてなしの場	・かつては貴賓館があり、また蔵春閣が整備され、おもてなしの場として使われていた

■城山公園の現状の課題

- ①施設等の老朽化
(大部分の大型建築物の老朽化、サクラの植栽木の老木も含む)
- ②道路による分断による連続性、安全性の確保
(公園の中央部に一般車両の通行が可能なことによる、広場間の連続性の確保や安全性の確保が課題)
- ③公園アクセスの不便
(駅など主要な出発点からのアクセス、主要道路からのアクセス性が悪いことが課題)
- ④駐車場不足
(慢性的な駐車場の不足、観光バス等の駐車場が少ない)
- ⑤園内動線の再整理の必要
(学校教育施設などの公共施設、居住者の動線の再整理)
- ⑥城山公園とその周辺の魅力の不足
(善光寺界隈の滞在時間が主要な観光地のなかで低い。滞在時間を増やすためにも、魅力づくりが課題である。)

■城山公園にあるポテンシャル

項 目	内 容
善光寺を介して観光客や、市民が集まる。	・1300年以上の歴史のある善光寺に隣接 ・善光寺は県内でも1、2の観光地 ・善光寺の観光利用者は年間600万人以上 ・7年に一度の御開帳の年は倍の1200万人(県内1位) ・過去の歴史のなかで、御開帳の年に合せて公園内も手を加えられてきた。
良好な眺望があり、高台にある。	・かつて横山城があった地(南北朝時代に築城?) ・第2次川中島の戦いで上杉謙信が本陣を置いた地 ・善光寺と門前町、中心市街地、善光寺の背景に広がる山々を一望できる
長野市のシンボリックな存在。	・善光寺周辺は歴史や文化を活かした門前町であり、長野市のシンボリックな地域となっている。 ・城山公園は、多世代にわたり利用され、愛着があり、シンボリックな存在となっている。

歴史から浮き彫りになった城山公園の魅力は活かす必要がある。

■再整備の基本的な2つの考え方

①歴史や文化、公園への愛着を大切にする。

- ・長野市の歴史とともに、城山公園の歴史・伝統・文化を後世に語るための再整備を行う。
- ・公園としての愛着、ふれあい、にぎわいをふまえながら、再整備を行う。
- ・100年前から歴史ある公園を誇りに思い、先人達が築きあげた公園の整備をふまえ再整備計画を策定する。

②50年先の公園の将来像を描く。

- ・施設の老朽化が深刻となるなか、今の課題を解決し、既存施設の今後のあり方をふまえた、50年先の公園の将来像を見据えながら再整備を行う。

■上位関連計画における城山公園の位置付け

項 目	内 容
長野市都市計画マスタープラン	・都市の貴重な緑地空間の保全を図る。 ・広域的な文化、芸術、レクリエーション、防災の拠点 ・城山公園一帯の自然環境を活かす。
長野市緑を豊かにする計画	・市のシンボルとなる城山公園を文化・芸術・レクリエーション・防災拠点として活用。 ・桜の名所となる景観の保全。
地域防災計画	・本地域の広域避難場所であり、防災拠点のひとつである。
観光振興計画	・市内滞在時間延長のための善光寺界隈、戸隠、松代を起点とした周遊コンテンツ開発(善光寺～城山公園～信濃美術館の周遊促進)

上位関連計画は市の方針であり、ふまえる必要がある。

■再整備のコンセプト(素々案)

「文化・芸術・レクリエーションの杜」

- ・長野市として100年前から存在する歴史ある公園を誇りに思い、昔から、市のまちづくりのなかで重要な位置づけであった城山公園を継承していく。
- ・信濃美術館に代表される芸術文化と、善光寺の歴史文化とを融合しながら、一体となった場とする。
- ・日常生活における身近な憩いの場、集いの場、レクリエーションの場とする。
- ・地域住民の多世代交流や、来訪者の交流が可能な場とする。

(2)再整備コンセプトと整備方針

■再整備の基本的な2つの考え方

- ①歴史や文化、公園への愛着を大切にする。
- ②50年先の公園の将来像を描く。

城山公園にあるポテンシャル

- 善光寺を介して観光客や、市民が集まる。
- 良好な眺望があり、高台にある。
- 長野市のシンボリックな存在。

上位関連計画における城山公園の位置付け

- ・都市の貴重な緑地空間の保全
- ・広域的な文化、芸術、レクリエーション、防災の拠点
- ・市のシンボルとなる城山公園、桜の名所として景観保全
- ・本地域の広域避難場所であり、防災拠点のひとつ
- ・市内滞在時間延長のための善光寺界隈を起点とした周遊コンテンツ開発

■再整備のコンセプト素々案

「文化・芸術・レクリエーションの杜」

■再整備における3つの整備方針

城山公園は、「文化・芸術・レクリエーションの杜」として、統一感を図った公園を目指します。

整備方針	主な再整備内容	主な取組内容	共通の特性
文化・芸術を創造する	これまで文化的な役割を担ってきた公園の歴史性から長野の文化と教養を創造する場としていく。 また、信濃美術館と東山魁夷館を通じて芸術の発信地として、さらにその中心性を高める。	噴水広場 文化交流施設 美術館 野外彫刻	防災機能の強化 駐車場の整備
レクリエーションの拠点	都市公園として、子どもから高齢者まで誰もが気軽に訪れて、それぞれの楽しみ方で自由に過ごせるようなふれあいの場を充実させるとともに、善光寺に近い立地性を活かして、観光客も楽しめるような交流の場を提供する。	多目的広場 (防災広場) 文化交流施設 飲食施設	
緑が豊かな美しい公園	都市の貴重な緑地空間を保全して、良好な景観と眺望を活かした美しい公園をデザインする。また、サクラの名所として景観を整える。	大樹の保存 サクラ並木 遊歩道	

(3)ゾーニング(空間構成の方針)

文化交流の杜

- 緑あふれるなかで、長野市の山々、市街地を眺望でき、そのなかで来訪者、市民との交流、文化が育まれるゾーン。
- 城山公民館、蔵春閣跡地に新たな交流施設、便益施設の整備
 - 善光寺界隈の滞留時間を増やす魅力も兼ね備えた来訪者が交流できる施設の整備(善光寺周辺の門前町の巧みが集まった長野の文化を紹介するなど)
 - 文化の情報発信を有した施設の整備
 - カフェなどの飲食、休憩施設
 - 良好な景色を眺望できる施設や、植栽の管理

ふれあいの杜

- 来訪者がともに憩え、森、川などの自然とふれあい、開放感あふれる空間のなかで、遊んだり、多目的な利用ができるゾーン。
- 芝生広場、遊具、散策路の整備、既存地形や自然を活かした整備
 - 防災拠点としての設備等を整備
 - ドックラン(愛犬とともにふれあえる場)の整備
 - 利便性を高めるために、駐車場を設置
 - 天候に左右されずに科学や生物の知識を楽しみながら学べる施設の整備
 - 天候に左右されずにレクリエーションできる施設の整備
 - 多目的なイベントや、多目的利用ができる広場の整備(防災の広場にもなる)。
 - カフェなどの飲食施設

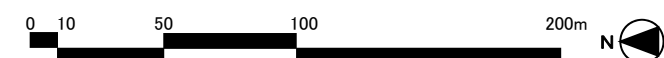
文化と芸術の杜

- 長野県を代表する芸術文化の拠点であり、市内外から来訪者が訪れ、多様な芸術に触れることができるゾーン。
- 新信濃美術館、東山魁夷館の再整備
 - 噴水広場の改修
 - 屋外ステージの整備
 - 防災拠点としての広場の整備、この広場で遊ぶことも可能。

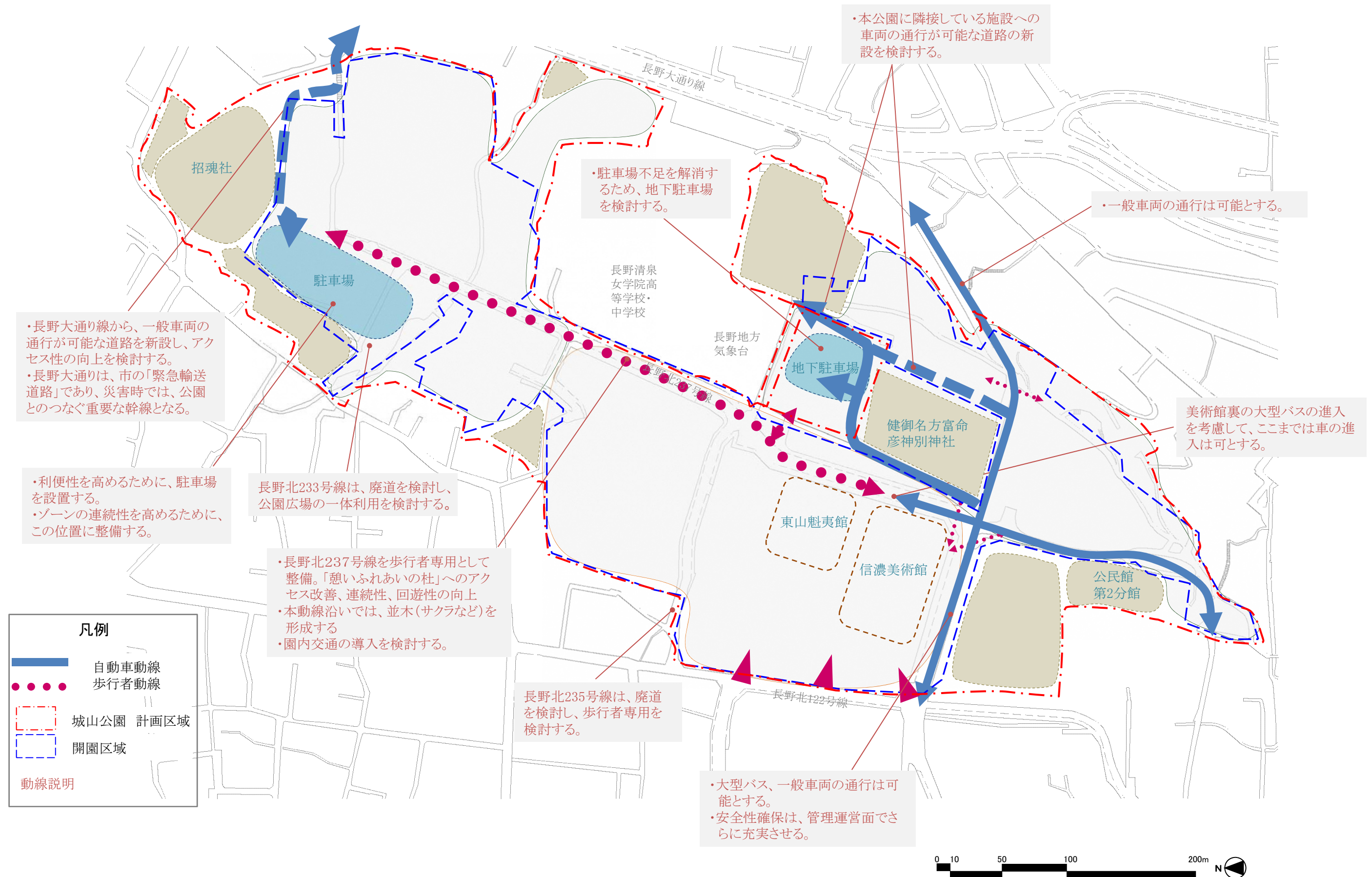
凡例

- 城山公園 計画区域
- 開園区域
- 今後、現状の土地利用に見合った見直しを検討

ゾーン説明

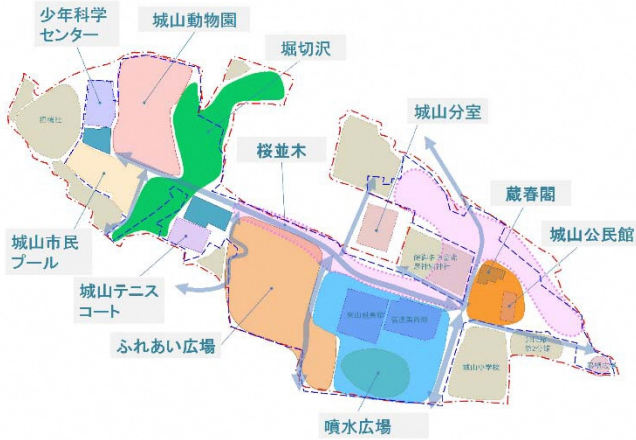
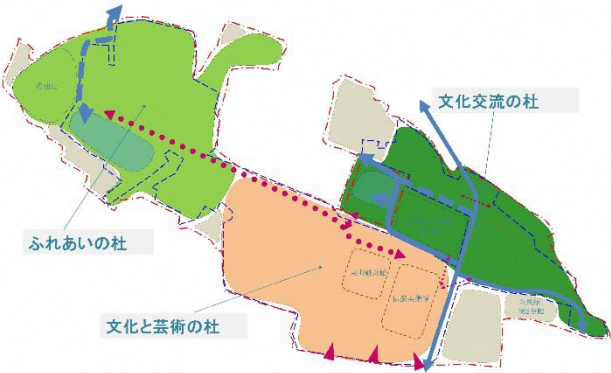


(4) 動線(空間構成の方針の補足として)



(5) 現施設と基本構想(素々案)の比較

管理運営サービス等計画(パンフレット、解説板の設置、運営体制等)は、次回以降の検討とする。

		現 況	基本構想(素々案)	
再整備コンセプト		—	「文化・芸術・レクリエーションの杜」	
ゾーニング 動線計画 イメージ図				
機能	芸術観賞	・信濃美術館、東山魁夷館	「文化と芸術の杜」にて	・芸術を通じた観賞機能は維持・強化する。 ・長野県を代表する芸術文化の拠点であり、市内外から来訪者が訪れ、多様な芸術に触れることができるゾーンで役割を担う。
	交流	・蔵春閣 ・城山公民館	「文化交流の杜」にて	・交流の機能は維持する。(ハコモノなどの検討は今後。) ・緑あふれるなかで、長野市の山々、市街地を眺望でき、そのなかで来訪者、市民との交流、文化が育まれるゾーンで役割を担う。
	遊び	・ふれあい広場 ・噴水広場	「ふれあいの杜」にて	・遊び、学び系の機能は維持する。(ハコモノなどの検討は今後。) ・来訪者がともに憩え、森、川などの自然とふれあい、開放感あふれる空間のなかで、遊んだり、多目的な利用ができるゾーンで役割を担う。
	学び	・城山動物園 ・少年科学センター		
	展望	—	「文化交流の杜」にて (都市公園区域外、旧城山庁舎)	・長野市内の山々を代表される良好な眺望が望める機能を強化。(ハコモノなどの検討は今後。) ・緑あふれるなかで、長野市の山々、市街地を眺望でき、そのなかで来訪者、市民との交流、文化が育まれるゾーンで役割を担う。
	ふれあい	・ふれあい広場 ・城山動物園	「ふれあいの杜」、 「文化交流の杜」にて	・ふれあい(人とのふれあい、動物ふれあい)系の機能は維持する。(ハコモノなどの検討は今後。) ・2つのゾーン内でふれあい機能を分担する。
	自然保全	・東の斜面林 ・堀切沢 ・桜並木	「ふれあいの杜」、 「文化交流の杜」にて	・グリーンインフラは維持する。 ・2つのゾーン内で自然環境保全の機能を分担する。
	スポーツ(運動)	・城山テニスコート ・城山市民プール	—	・再整備コンセプトをもとに、園外へスポーツ機能を統合。 ・「北部レクリエーションパーク」、「昭和の森公園」はスポーツ施設が集約しているので、このエリアに集約する。また、点在するテニスコートもスポーツ機能の補完が可能。
駐車場		駐車場 (立体駐車場、少年科学センター付近駐車場、蔵春閣付近駐車場、ふれあい広場多目的駐車場、東山魁夷館横駐車場)	・園内動線を考慮し、憩いふれあいの杜に1箇所新設 ・必要に応じ、「文化交流の杜」(城山分室)の敷地の地下駐車場を検討	
動線		・園内に車動線、歩行者動線が混在した動線	・自動車動線を制限(既存の車道は、本公園の軸線として、有効活用) ・長野大通りからのアクセスを追加し、緊急時の対応をさらに強化する。 ・関係車両等のアクセス路を新設(神社西側)	

(6) 段階整備について

①段階整備を優先する着目点 ～優先的に整備するエリアを選定する

- (1)施設の老朽化で安全上、利用上支障がある空間を優先して整備
- (2)立地条件を活かした、集約力のある施設を優先して整備
- (3)利便性を考慮した、便益施設(駐車場など)を優先して整備

参考) ①(1)に関する条件

老朽化している施設順	施設名	整備年	経過年数	ゾーン
1	城山動物園	1961 (S36)	58年	ふれあいの杜
2	城山分室	1963 (S38)	56年	文化交流の杜
3	蔵春閣	1967 (S42)	52年	文化交流の杜
4	城山市民プール	1968 (S43)	51年	ふれあいの杜
5	城山公民館	1970 (S45)	49年	文化交流の杜
6	堀切沢自然園	1984 (S59)	35年	ふれあいの杜
7	少年科学センター	1985 (S60)	34年	ふれあいの杜
8	東山魁夷館	1990 (H2)	29年	文化と芸術の杜
9	城山テニスコート	2001 (H13)	18年	ふれあいの杜
10	ふれあい広場	2007 (H19)	12年	文化と芸術の杜
11	立体駐車場	2007 (H19)	12年	ふれあいの杜
12	噴水広場	整備中	-	文化と芸術の杜
13	信濃美術館	整備中	-	文化と芸術の杜

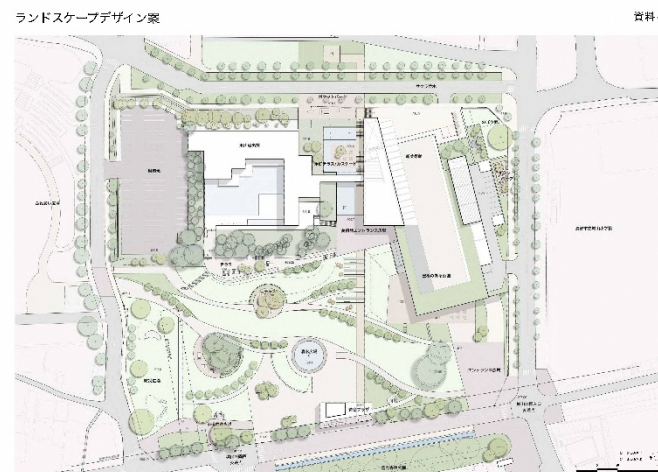


参考) ①(2)に関する条件
善光寺からの来訪者が多い。



(7)ゾーンのイメージ写真等

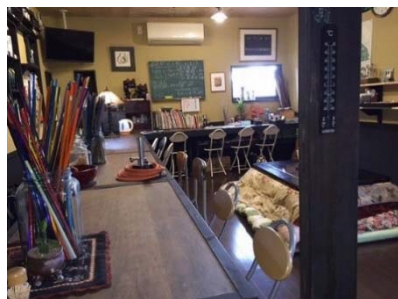
芸術文化系のイメージ



信濃美術館の改築、東山魁夷館の改修 パンフレットより

交流系のイメージ

門前町の工芸を公園内でできるような空間を創出



トンボ玉 ほか



数珠づくり



さをり織り ランチョンマット

出典:体験イベント 長野観光コンベンションビューローより

遊び・学び系のイメージ



動物ふれあい(茶臼山動物園)



子供と大人が一緒になって学習できる場の提供(少年科学センター 実験状況)

出典:須坂市社会福祉協議会ブログより



ボーネルンド プレイヴィル天王寺公園
天候に左右されずに、身体を動かせるあそび体験ができる空間
(天王寺公園てんしば 大阪市)



天候不順でも、
室内で遊ぶことができる空間を創出
(てくてく、ぐんぐんなど 長岡市)

憩い・ふれあい系のイメージ



既存のふれあい広場(屋外)を維持



起伏の富んだ芝生広場(若里公園)



芝生広場の空間、休憩所(佐久市、
市民交流広場)



カフェ、天王寺公園てんしば(大阪市)



カフェ、南池袋公園(東京都)



広場の縁に桜の並木 城山公園ふれ
あい広場

解説板などのイメージ

適所に解説板を
設置して、地域の
歴史を伝える工
夫を行う。



室堂の解説板



噴水の歴史の解
説板(城山公園)



国営アルプスあづみの公園の
解説板



カフェ、富岩運河環水公園(富山市)



入口広場にて草花の物販(敷島公園ばら園 群馬県)

眺望・憩い系のイメージ



長野市を代表とする景観が楽しめる場を創出（現在の旧城山庁舎からの遠望）



ドックラン 国営アルプスあづみの公園

自然ふれあい系 森の保全系のイメージ

市街地の緑の核となる空間を創出



林間レクリエーションゾーン
国営アルプスあづみの公園



疎林広場 アルプス公園 松本市



林間の散策路 城山公園

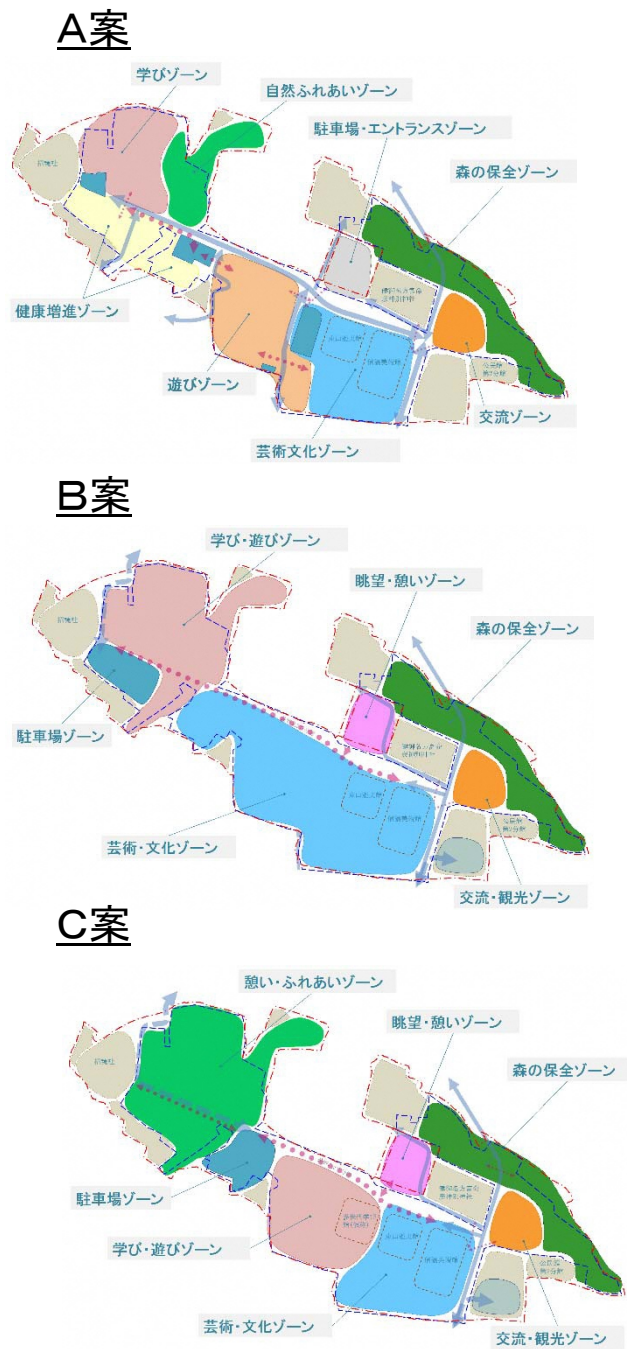


城山公園 2016.9.10 撮影

市街地の緑を代表するまともりは、城山公園と善光寺その周辺の緑である。

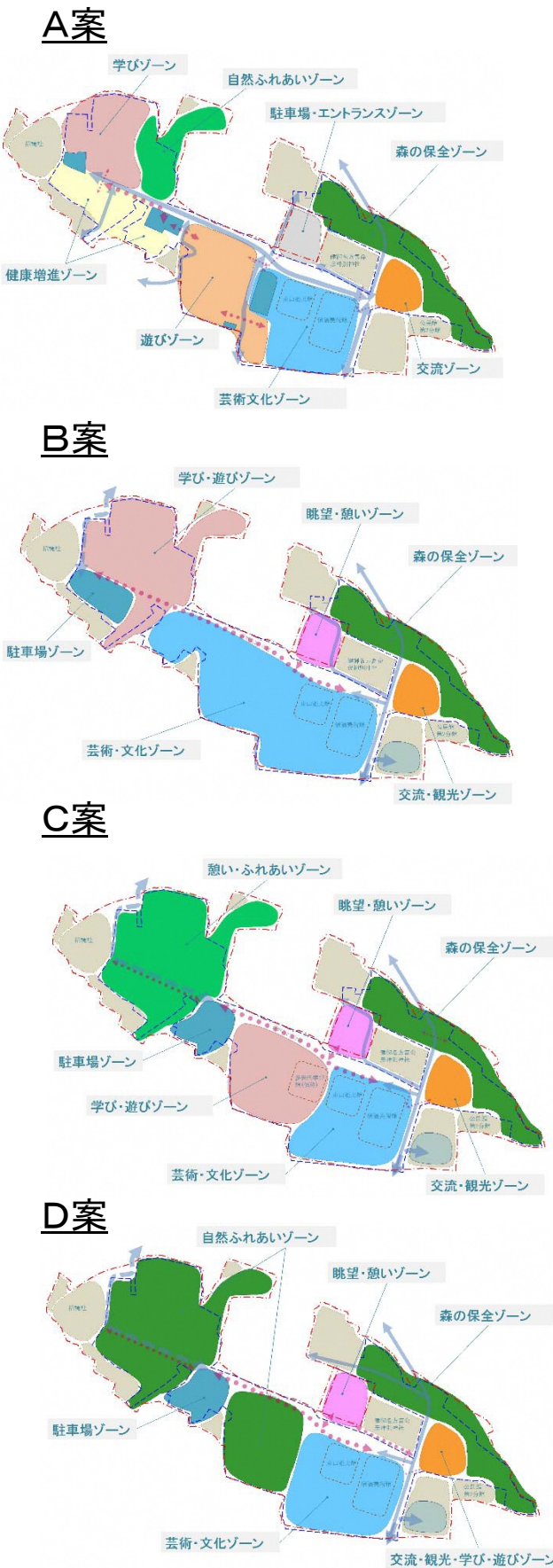
(参考)基本構想検討の経過

第8回委員会(H30.9.4)提示
基本構想 3案



第8回委員会
(H30.9.4)の
意見

第9回委員会(H30.11.20)提示
基本構想 4案



第9回委員会
(H30.11.20)
の意見

第10回委員会(H31.3.14)提示
基本構想 2案

